

あなたにできることがある！

実行委員会が発足して、今日で10日がたちました。震災から1ヶ月と10日目です。私たちは震災を目の当たりにしては「何ができるか考える」ことが大切だと思いました。しかし、今は違います！「できることがある」と分かりました。まだ10日の活動ですが、毎日放課後実行委員は244教室で動いています。やることがいっぱいありすぎて頭が回らなくなる日もあります。でも、毎日実行委員が増え、支援物資が増えると本当にこの活動に参加できて良かったと思えます。でも、後10日で、応援行事の日です。私たちと一緒に活動してくれる人、待っています。

日に日に、支援物資が届けられますが、まだまだ不足しています。支援物資を提供して下さい。

＜バザー出品用＞食器・洗剤・衣類・靴・タオル・ハンカチ（以上新品のもの）

カバン・おもちゃ（マックのおもちゃ以外）・書籍・帽子・髪ピン、ゴム・本校制服（洗濯済）

＜被災地郵送用＞ノート・鉛筆・鉛筆削り一式セット（袋に入れてくれると助かります）

飴チャン・生理用品・ウエットティッシュ・色紙・お手玉

～実行委員会より保護者の皆様へのお願い～

本日「お願い」のプリントを配布しましたので、お読み下さい！

中国からの支援物資が積み上げられていました

被災地現状報告 その4

気仙沼で唯一営業ができていた大型スーパーに行ってみることにした。因みにジャスコは店舗が使えず屋上で一部営業を始めたと聞いた。行ったスーパーは買い出しの方が多かったものの、陳列台がほとんど空っぽの場所があった。電池類はゼロ。ウエットティッシュもゼロ。雑誌もゼロ。お菓子は品薄。文具も品薄。その代わり、こちらでは目にしない携帯用ミニパンが盛りだくさん。入口ワゴンの中には、当面用のシャツ・靴下・下着などが少々ありました。

気温6℃、まだまだ肌寒さが残る東北。訪問中も、ギシッーと家屋がきしむ音と地鳴りが重なりグラリと感じる余震を数回感じた。破壊された町で人々は「今」を過ごしていました。



お菓子のコーナーを見ている渡邊先生